「守れ！北海道の生産空間」シンポジウムの開催

国土交通省
「世界の北海道」を目指して
―北海道総合開発計画―

■ 平成31年2月28日、北海道総合開発計画に掲げる「生産空間」の維持・発展に向けた取組の全道展開に向けたキックオフとしてシンポジウムを開催。国、道、自治体、経済団体、地域づくり活動団体など約280名が参加。

■ 地域の存続のために今何が必要かについて来場者と一緒に考え、自治体や地域住民、民間企業・団体等の関係者が、連携を広げて知恵を絞り、諦めずに思い切って、一つ一つの取組を積み重ねていくことの重要性について認識を深めた。

シンポジウム

守れ！北海道の「生産空間」～地域が存続していくために今何が必要か～

〈開催概要〉

〔日 時〕 平成31年2月28日(木)
13:00～16:30
〔場 所〕 札幌市教育文化会館 小ホール
〔主 催〕 北海道開発局
〔参 加〕 約280名

〈プログラム〉

［開会挨拶］	北海道開発局次長	津垣 修一
［特別講演］	(株)セコマ 代表取締役社長	丸谷 智保 氏
［基調講演］	日本大学 特任教授、国土審議会 委員	石田 東生 氏
［取組報告］	北海道開発局 開発調整課 開発企画官	平野 誠治
［パネルディスカッション］		
［閉会挨拶］	北海道開発局 開発監理部次長	平野 令緒

特別講演　地域と共に歩み存続する経営　丸谷 智保 氏

- **生産空間の考え方は**自分が考えていたことを**完璧**に整理してくれている。
- 過疎地では**無店舗村**などの問題を抱える中、**住民・行政・民間が三位一体で**知恵を絞って生産空間を守るべき。**地域のこし**の先に地域おこしがある。
- セコマグループでは全道に**効率的な物流網**を構築し、道内175市町村に店舗を展開している。規格外農産品を活かした商品開発も実施。上渚滑産の木材を用いたイートインなど**地方への出店が新たな展開に**寄与した例もある。

基調講演　生産空間検討の意義と課題　石田 東生 氏

- 人口減少・国債残高におびえ何もしないのは良くない。**北海道が先頭を**切るべき。
- 大量生産ではなく、**土地にこだわり**、農水林・観光業などで**Ippin（一品・逸品）をつくる**ことが重要。**シーニックバイウェイ**のような観光地域づくりが具体形。
- モデル地域の取組を施策リストだけに終わらせず、実施に向けて体制・予算・負担を検討する絶好の時。地域の**マネジメント体制**を構築していくことが重要。

パネルディスカッション

人口減少が進む中、地域が生き残り、食・観光などの強みを維持し続けるため、今どのような取組が必要か？

○ **アドバイザー**
日本大学 特任教授、国土審議会 委員　**石田 東生 氏**

○ **コーディネーター**
(一社)北海道総合研究調査会 理事長　**五十嵐 智嘉子 氏**

○ **パネリスト**（五十音順）
帯広信用金庫 常務執行役員 地域経済振興部長　**秋元 和夫 氏**
しりべし女子会 会長　**池本 美紀 氏**
名寄商工会議所 会頭　**藤田 健慈 氏**

- 道北の北部では、**物流問題が**地域を上げて取り組むべき**重要な課題**であり、地域連携物流システムの検討を進めている。**生産空間の取組により**、関連する**様々な団体が**知恵と戦力を持ち寄り、**有機的に連携**しながら、実験的な取組に向けて検討を進めることができた。〔藤田氏〕
- 地域内再投資を活発化させ、地域内資金循環を促すことが金融機関の使命。十勝産品の高付加価値化やブランド化に向けて、**産学官・農商工と金融等が連携**し新たなチーズを開発した。金融機関としてお金をお貸しするだけでなく資金需要が生まれるまでのプロセスも支援するなど、**包括的、体系的で継続的な支援をシームレスに展開**していきたい。〔秋元氏〕
- 行政・民間を問わず、**私たちが村にできることを**と、神恵内村魅力創造研究会の取組を始めた。後志を面で捉えて連携するため、**キーとなる女子を繋いだ**しりべし女子会を設立した。地域を**活性化する人がまず元気なこと**、来訪者にいかにお金を落としてもらうかが大切である。〔池本氏〕
- 同じ思いを持つ人々が**連携する**ことで勇気づけられ、声が届きやすくなる。各自治体等の連携を開発局が支援し、絵に描くだけでなく実際のプロジェクトを進めていくべき。たとえ実現しそうにない取組でも、各行政のスキームを組み合わせて知恵を絞り、**思い切ってやる**べき。〔石田氏（総括ｺﾒﾝﾄ）〕
- 生産空間は身近な**一つ一つの積み重ね**によって守られる。逃げ場がなくても**諦めない**からこそ、やるという力が発揮される。民間での**連携を広げる**ことが関係人口創出に繋がっていく。今日のシンポジウムが第一歩となり、次の第二歩に進むことを祈念したい。〔五十嵐氏（総括ｺﾒﾝﾄ）〕

〔後援〕北洋銀行、北海道銀行、北海道経済同友会、北海道経済連合会、（一社）北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、（一社）北海道中小企業家同友会、（一社）シーニックバイウェイ支援センター、NPO法人わが村は美しく－北海道ネットワーク、北海道市長会、北海道町村会、北海道、農林水産省北海道農政事務所、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道運輸局